



そんなとき自然災害が起こったらどうしたらいいの？

一人ひとりが次のような自助としての感染症対策をしましょう。

対策1

避難所などへの避難が必要か確認しましょう

自宅に災害による被害の危険性がある場合は「立ち退き避難」の必要があります。感染リスクを恐れて、避難行動を躊躇することのないようにしましょう。

※ただし、住まいの状況（例：堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合等）によって、自宅で安全確保ができる場合、「立ち退き避難」の必要はありません。

芦屋市防災情報マップ
で自宅の危険性を確かめよう！



芦屋市 Web 版
防災情報マップ



対策2

在宅避難をしましょう

避難所などへの避難の必要がないと判断したら、「在宅避難」をしましょう。

自宅で十分な安全確保ができること、備蓄食料があること、ライフラインが途絶しても対応できることなどが、「在宅避難」では重要となります。



対策3

安全な地域の親せきなどの家への避難も検討しましょう

避難が必要と判断した場合でも、必ずしも「避難所」へ避難する必要はありません。

安全な地域にいる親せきや友人、知人の家への避難も検討しましょう。

事前に相談！
早めの移動！
が重要だね



対策4

避難所などへ避難する場合は、感染症対策物品を持参しましょう

感染を防止するために次のような物品を非常持出品に加えておきましょう。また、定期的に換気が行われる避難所での寒さ対策として、上着を用意して避難しましょう。

チェック



マスク・ハンカチ



体温計



アルコール消毒



ウェットティッシュ



上履き・スリッパ



ハンドソープ・固形石鹸



ビニール袋

Q 症状がある人と一緒に過ごすの？

A 受付で避難者の手指消毒・検温などの健康チェックを行います。また、体調不良者や濃厚接触者の動線や避難スペース、トイレは他の避難者と分離します。（避難所によって分離の方法は異なります。）

Q 避難所内の感染対策は？

- A**
- ① 避難スペースは、他世帯の避難者との間隔をできる限り2メートル（最低1メートル）確保した区割りで設定します。
 - ② 十分な換気を行うため、定期的な換気を実施します。
 - ③ トイレなどの共用部分は、定期的な消毒・清掃を徹底します。

Q 避難所で避難者が気を付けることは？

A 手洗い、手指消毒、うがい、咳エチケット（マスクの着用）を徹底してください。また、避難スペースではスリッパなど内履きを徹底し、外靴は各自が靴袋で管理してください。その他安心できる避難所運営にご協力をお願いします。

災害時に市からの情報を確実にお届け
あしや防災ネットに登録を！

登録いただいたスマホ、携帯電話、パソコンなどのメールに災害情報を発信しています。是非ご登録ください。

登録方法

メールで災害情報が届きます！

空メール	返信メール	登録完了画面
<p>From ***@****.***</p> <p>To ashiya@bosai.net</p> <p>件名</p> <p>① 【件名】と【本文】欄は空欄のまま、ashiya@bosai.net にメール送信をすると...</p>	<p>② このようなメールが届きます！</p> <p>From info@bosai.net</p> <p>To ***@****.***</p> <p>件名 【仮登録】 情報メール受信</p> <p>下記 URL よりかんたん登録の手続きをお願いします。</p> <p>※この URL の有効期限は 7 日間です。7 日以内に手続きを完了してください。</p> <p>※情報メールの受信をご利用される前に必ず利用規約をお読み下さい。</p> <p>利用規約 (必読)</p> <p>http://bosai.net/****</p> <p>■利用規約に同意して登録する</p> <p>http://bosai.net/****</p>	<p>あしや防災ネット</p> <p>◆登録内容の確認◆</p> <p>以下のとおり登録されました。</p> <p>◆緊急情報メール◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あしや防災ネット ◆お知らせメール◆ ・あしや防災ネット ◆気象情報メール◆ ◆地震情報◆ ・兵庫県全域 ◆津波注意報・警報◆ ・兵庫県瀬戸内海沿岸 ・淡路島南部 ◆気象警報・土砂災害警戒情報◆ ・芦屋市 ◆河川洪水予報◆ (受信しない) <p>⑤ この画面が表示されれば登録は完了です！</p> <p style="text-align: right; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">完了！</p> <p style="text-align: right; font-size: 0.8em;">変更・解除する</p>

QRコードで登録簡単♪

今後は、感染症対策の課題に対応していくため、市内の避難所以外の公共施設や企業の福利厚生施設等の活用も検討中です。また、感染症対策を踏まえた避難所の開設運営について、訓練にて検証を行っていますが、感染症対策を実施した上でも、避難所ではある程度の感染リスクの可能性はあります。だからこそ…災害が起こったとき少しでも不安にならないように、一人ひとりが“自助としての感染症対策”を徹底しましょう！